

日本共産党江津市委員会
電話 52-2633
FAX 52-7244
NO. 2414
2020年8月30日

住民のための市政を！！

こうつ民報

江津市議会9月定例会

一般会計2億2217万円の補正予算案

9月1日に開会される江津市議会9月定例会には、山下市長から2億2271万円の一般会計補正予算案が提案されます。

新庁舎建設費追加で

6770万円

補正予算案には、シビックセンターで建設が進められている新庁舎（工事進捗率30%）の建設費用について、変更・見直しによる増減があり、差し引きで6770万円の増額が計上されています。



このうち増額の主な要因としては、地下埋設物の処分費用（2654万円）・外装塗料の見直し（324万円）・1階ロビーでの天井施工の追加（456万円）・ブラインドの追加（891万円）・空調インバータの追加（400万円）・テレビモニターの追加（137万円）などが挙げられています。一方で、減額の要因としては、躯体に使用するコンクリートの変更（1584万円）・3階と4

階の屋上部分の変更（486万円）・使用エネルギーの見える化システム導入の中止（304万円）のほかに新庁舎関連の予算として、新庁舎が完成すると動線が交錯する江津警察署の進入路の改修（900万円）・市道高丸線の跨線橋下の管理道整備（1100万円）による増額も計上されています。

は、1階と2階に地域医療連携室が設けられています。これを1階へ統合し、その隣に市役所の地域包括支援センターを移転させる費用の補助金として、1222万円が計上されています。市では患者データや人口動態から、「病床数の削減や病床機能の転換は避けられない」としており、外来患者や入退院を繰り返す患者へのフォロー、入院から在宅医療への移行支援など、患者の多くを占める高齢者へ対応し、地域医療連携室と地域包括支援センターでの医療・介護の連携強化により、患者数を維持・確保するとしています。

この事業は国の委託事業で、「魅力ある雇用を創出するための事業所を対象としたセミナー・伴走型の支援の実施」「人材育成の観点からの求職者を対象としたセミナーの実施」「就職促進によるマッチングを図るための合同企業説明会」など、雇用創出を図る取り組みを行なう『江津地域雇用創造協議会』を設立し、支援するとしています。

補正予算案でこのほかに計上されている金額の大きいものとしては、シビックセンターで建設するためのもので、江津工業高校前に官舎を建設するためのもので、3979万円があります。江津工業高校前に官舎を建設するためのもので、1300m²を市が土地開発公社から購入する費用です。ただ、購入後に官舎を建設する県へそのまま売却する予定とされており、補正予算案では歳入・歳出で差し引きゼロとなっています。

**悩み・困りごと
ご相談ください**

森川よしひで
090-7379-1554

多田伸治
090-6014-2259

済生会へ市役所機能の一部移転

より医療崩壊への懸念が広がっており、医療従事者の増員や病床確保が重大な課題となっている状況で、従来通りの方向性で病院経営が改善するのか、注視する必要があります。

2020年度は今回の1500万円、21・22年度にそれぞれ3100万円を投入し、3年間で98人の雇用創出を目指します。事業についての説明では、市内の生産年齢人口が1万人を下回り、土木建設・医療・福祉・サービス業での人材不足が顕著である一方で、子育て世代や高齢者層の求職が隔たりがある状況へのテコ入れを行なっています。

3年間で98人の雇用創出目標

魅力ある雇用やそれを担う地域人材の創出を図る地域雇用活性化推進事業に1500万円を計上しています。

この事業は国の委託事業で、「魅力ある雇用を創出するための事業所を対象としたセミナー・伴走型の支援の実施」「人材育成の観点からの求職者を対象としたセミナーの実施」「就職促進によるマッチングを図るための合同企業説明会」など、雇用創出を図る取り組みを行なう『江津地域雇用創造協議会』は市・県のほか、江津商工会議所・桜島根などで構成され、

では、昨年9月定例会の補正予算でも、隣接して建設される県営住宅の土地の購入費用として、同じく土地開発公社への825万円が計上されたほか、市営住宅の併設が計画されています。

有福温泉の活性化基本計画を策定

25日、江津市議会の議員連絡会で、市長より有福温泉の活性化に向けた基本計画について説明がありました。

検討委員会からの提言
有福温泉活性化検討委員会（会長・高田龍一・松江高専名誉教授 下表参照）が、山下市長に有福温泉の活性化への提言を行いました。有福温泉は、かつては20を超える旅館が軒を連ねていましたが、現在では3つ

の公衆浴場と3軒の旅館のみとなつており、かつての賑わいは失われています。提言では、島根県が整備している有福温泉へのアクセス道路・県道田所国府線について、▼県道からつながる温泉街入り口に大型バス用駐車場15台分の整備▼あづまや・イベントスペース・休憩所・照明・案内看

板の整備など、観光客の減少が続く対策を求めています。少が続く対策を求めています。

基本計画3つの方針

この提言を受けて、市が有福温泉活性化基本計画を策定。計画では、現状から脱却を目指し、①有福温泉の来訪者増加と安定した温泉経営、②地域観光資源の活用と街並み景観の創出、③社会基盤整備の推進と環境向上など、地域住民・事業者・行政機関が一丸となつ

て取り組むべき、短期から長期まで視野に入れたハンド・ソフトを再構築する方針も示されています。

短期（3年以内）では、公衆浴場の共同管理運営体制のあり方の検討、新たな有福温泉再生ビジョン策定と実現可能性の調査実施、高速インターネット環境構築などが挙げられています。

中期（3～5年）では、善太郎餅・有福大仏・神楽

殿などの観光資源の活用策

の展開、空き店舗・空き旅

館を活用した民間事業者の参入支援、湯路川の洪水・

地方のくら

しを楽しむ

中長期滞在

としての拠点

PR活動、

前面に出し

たPR活動、

は、泉質を

います。

長期（6年以上）では、

周辺整備な

どを挙げて

います。

土砂災害対策の検討、

短期滞在者

は、泉質を

います。

長期（6年以上）では、

周辺整備な

どを挙げて

います。